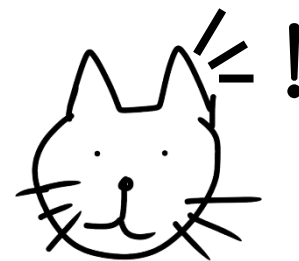


第28回MQI活動

2023年度MQI統一主題

活気ある次世代を担う病院への改革
～理念実現のための職場作り～

みみより
MQI



発行（公財）練馬総合病院MQI推進委員会
〒176-8530 練馬区旭丘1-24-1
Tel.03-5988-2200（代）

2023年度 MQI 活動キックオフ
推進委員長 柳川達生



第27回発表大会は、令和4年12月3日に地下講堂とWebのハイブリッド方式で開催いたしました。会場参加者は122人（院外4人）であり、ZOOM参加者は77人（院外19人）と多くの皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。

さて、安堵もつかの間で、28年目の活動が始まりました。本年度の統一主題は「活気ある次世代を担う病院

への改革～理念実現のための職場作り～」です。病院が発展していくためには、働き甲斐のある職場環境が必要です。職員が働きたい病院にこそ医療者も集まり、クリニックからも地域に根ざした病院となります。今年も統一主題に沿った成果が得られることを期待しております。

まずは、3月17日に動画配信によるキックオフを開催しました。引き続き、5月13日には「半日で活動計画を立てる会」を開催しました。何事も最初が肝心です。活動立ち上げの段階で綿密な計画を立てることが重要と考え、例年行っております。今年は4チームが立ち上げられ、活発な議論が行われました。MQIの目的は業務改善、職員の業務遂行能力・管理能力の向上、部署間の調整の推進です。チームメンバーだけでなく、職員の皆様の積極的な参加を期待しております。

今年も感染予防のため、CoMedixによる動画配信形式となりました。

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| ①「MQIキックオフ」 | 柳川MQI推進委員長 |
| ②「練馬総合病院のMQIとは」 | 飯田名誉院長 |
| ③「活動改善テーマ アイデア募集
今までのMQI活動一覧」 | 金内MQI推進副委員長
青山MQI推進委員 |
| ④「MQIで実現してきたこと」 | |

CoMedixの「お知らせ」

→「MQIキックオフ」で検索すると、いつでも動画視聴が可能です。

2023年度参加チーム紹介

テーマ・チーム名
主体部署・リーダー・サブ

チームリーダーからひとこと

『多職種で関わるFLSカンファレンスの体制を整える』
チーム名称：チームFLS
主体部署：薬剤科 中原佐和子・島谷雅之



大腿骨折近位部術後の骨折によりQOLの低下や死亡率の上昇が知られており、チームとして骨粗鬆症の治療や再骨折予防に取り組むことが求められています。

今回の活動を通して当院の患者に対し、他職種で構成するチームで介入し二次骨折予防に努める仕組みを構築したいと思っています。ご協力よろしく申し上げます。

『画像データ出力・取込の運用を見直す』
チーム名称：ラジエーションハウス
主体部署：放射線科 阿部康幸・岩淵真耶



放射線科では様々な部署から患者さんの画像データの出力や取り込みの依頼がありそのたびに放射線科に足を運んでもらっています。

今回の活動で運用方法を見直し、関連部署の方々が放射線科に来る負担を少しでも減らせたらと思っています。

『受付の業務を整理し
初診患者を速やかに診療科へ案内する』
チーム名称：すみやか隊
主体部署：医事課 關山恵理・南保理恵



受付の初診窓口では診療申込書や問診票、紹介状等を預かり、取り込み、登録する流れになっています。工程が多く、電話対応や救急車の受付などの

業務中断が重なると、患者さんのご案内が滞る問題があります。業務を整理し、速やかに診療科へご案内できるよう改善を目指します。

『夜間、震度5以上の地震発生時、職員が安全に
初期対応を行うことができる』
チーム名称：地震に自信!!
主体部署：看護部 大橋周治・大野涼



勤務職員の人数が限られている夜間に、震度5以上の地震が発生した時、自分達が円滑に初期行動をとれるかどうか不安を感じ、活動テーマを決めました。

恐らく夜間勤務する職員の皆が不安を持ちながら働いていると思うので、対策実施後には皆の不安を少しでも取り除けたらと思っています。

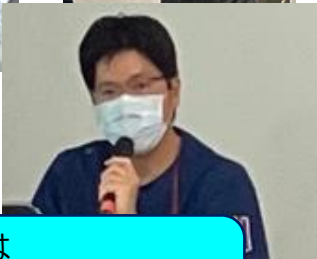
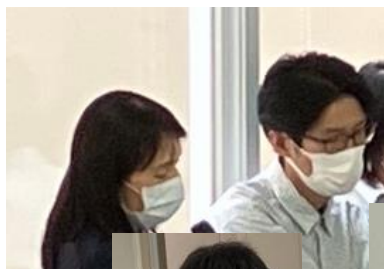
MQI | 半日で計画を立てる会 2023年5月13日 13時～17時30分

★ 参加の皆さま、お疲れ様でした! ★

参加者 63名

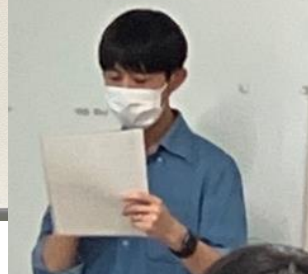


チームメンバーの先生方も参加してくれ、活発な討議ができました!



★MQI推進委員は
チームの活動を
サポートしています★

質疑応答、
ありがとうございました!



アンケート結果

※ご意見は一部抜粋

これまで1日(半日)で計画を立てる会に参加したことがありますか

初めて 47% 参加したことがある 53%

グループワークに入る前の全体説明に関して

十分である 92% 不十分である 5% 無回答 3%

・発表する内容に対して重視するため、集まって話し合う内容まで前もって調整できない

自チーム発表に対する意見や質問に関して

参考になった 87% 無回答 13%

・自チームで当たり前になっていることでも、他部署、人にはわからないことがあると認識できた
・医師たちの生の声を聞けたことが参考になった

質疑の時間に関して

長い 11% 適当である 84% 短い 5%

自チームの事前準備に関して

十分できていた 69% 準備不足だった 13% 無回答 18%

・質問を想定し回答を準備すべきだった ・内容が詰めきれていない ・意見がまとまっていなかった
・定義書がギリギリまで変更したため、発表スライドもギリギリまで変更した

来年もこのような会を開催する場合

このままでよい 71% もっと改善してほしい 24% 無回答 5%

・定義書の段階で1度コメントを出す機会があれば、もう少し精査された内容で半日の会ができと思う
・グループによって発表内容が違ったので、何をどこまで必要か、はじめに教えてほしい
・発表やグループ討議の時間配分を改善してほしい ・PCの不具合

“過去にも参加したことがある”方へ
昨年に引き続き、半日で行いましたがいかがでしたか

・質疑を十分にできるようにもう少し時間をとってほしい
・タイトであるが十分議論できたので良かった
・席が広くてメンバーが遠かった
・他のチームの意見が参考になった

その他

・どのチームも有意義なテーマだと思う
・パワーポイントが前のプロジェクター等に動かない、写らないことが多く改善してほしい

～役職者からのコメント一部抜粋しました～

チーム：チームFLS「多職種で関わるFLSカンファレンスの体制を整える」

転院の場合はフォローはどのようにしますか？外来でも継続してフォローされる体制が必要であるため、関連職種でどのように連携していくかが重要です。

チーム：ラジエーションハウス「画像データ出力・取込の運用を見直す」

画像データの出力・取り込みに対する運用については、業務への影響も大きいです。ぜひとも、ペーパーレスでCD-ROMやフィルムの搬送方法などについても検討して頂きたいです。

チーム：すみやか隊「受付の業務を整理し初診患者を速やかに診療科へ案内する」

問診票の内容の見直しはよいと思います。より簡潔になる事で患者負担、医事課の負担共に軽減するのではないかと思います。グラフの内容がいまいちよくわかりませんでした。データの取り方、見せ方を間違えると残念な結果になるので気を付けたほうが良いです。

チーム：地震に自信!!「夜間、震度5以上の地震発生時、職員が安全に初期対応を行うことができる」

いつくるかわからない災害に対する活動では、活動の成果が継続的に維持できる仕組みづくりが必要と思います。歯止め標準化することこそが本活動の目標と思います。

2023年度 MQI 推進委員会メンバー

委員長	柳川 達生	(院長)
副委員長	金内 幸子	(医療マネジメント室)
委員	東 宏一郎	(副院長・内科医師)
	小谷野 圭子	(質保証室)
	近藤 拓也	(医事課)
	森 美奈子	(薬剤科)
	青山 駿	(リハビリテーション科)
	☆渡邊 輝子	(看護部・外来)
	☆北野 和彦	(臨床工学室)
	☆遊佐 洋子	(健康医学センター)
	☆北島 絵理佳	(栄養科)
	☆植村 里美	(看護部・4F)
	☆山越 真弓	(質保証室)
	☆安上 尚吾	(放射線科)
	☆小宮山 海渡	(検査科)
事務局	佐久間 涼司	(人事経理課) ☆はNEWFACE

2023年度 MQI 活動予定表

3/17	5/13	6/5	7/31	10/2	10/18	11月	12/2	2月
(キックオフ動画配信)	半日で計画を立てる会	チーム別相談会①	チーム別相談会②	発表スライド×切	予演会	報文集作成	発表大会	継続フォローの会

今、この地点です。
 チーム別相談会のアドバイスを参考にしてください。

今年度のMQI発表大会は12/2（土）に開催予定です。今年度も発表大会までに報文集作成を完了します。MQIでは活動プロセス評価を導入していますので、提出物の遅れがないよう、×切にご注意ください。

第1回チーム別相談会を6/5（月）に開催しました。7月に第2回チーム別相談会があります。7月のチーム別相談会では、対策実施まで進むことを目指して、各チーム活動に取り組んでください。